

仮評価に基づく審査品質管理の実施体制に関する改善案（特許）

平成26年12月18日
事務局

【品質監査に関するもの】

- ・ 主要な起案種別（拒絶理由通知、発送前の特許査定、発送前のPCT国際調査報告等）に対する品質監査の本格的な実施＜（同趣旨）浅見委員、小原委員＞
- ・ サンプルチェックではなく、全件チェックが望ましいが、不可能であれば、ランダム抽出から生じる懸念を防止する方策を検討すべき。例えば、年度毎に特定の部門を選択し徹底した監査を実施する等＜竹本委員＞

【品質保証（決裁）に関するもの】

- ・ 品質保証のための決裁ガイドラインの策定、及び決裁を通じて行われた是正措置の記録＜小原委員＞
- ・ 品質確保には管理職による全件チェックの体制を万全とすることが世界最高品質の一番の近道＜長澤委員＞

【審査（サーチ、判断、先行技術調査）の取組に関するもの】

- ・ 判断ばらつきを低減させるための協議の拡充＜（同趣旨）浅見委員、小原委員＞
- ・ 拒絶理由通知書等の起案様式の統一＜小原委員＞
- ・ 形式的瑕疵の発生を低減するための支援ツールの提供＜小原委員＞
- ・ 外国特許文献サーチの充実に向けたノウハウの蓄積・共有、検索インデックスの再整備、先行技術調査の対象となる文献増加に伴う審査負担軽減の施策推進＜（同趣旨）小原委員、田沼委員＞
- ・ ビジネス動向（製品や技術のトレンドは世界のどの地域にあるかなど）を把握してサーチ範囲等に反映する取組みを検討＜田沼委員＞

【審査・品質管理体制に関するもの】

- ・ 審査官数の確保、及びその育成の充実＜（同趣旨）浅見委員、小原委員＞
- ・ 品質管理のための審査体制整備の人員確保＜飯村委員＞
- ・ 品質管理庁内委員会及び品質管理官が審査部内に設置されているが、審査及び監査の双方が独立性を持った機関とすべきではないか。＜竹本委員＞

【品質に対する意見提出窓口等ユーザーニーズの聴取に関するもの】

- ・ユーザーからの苦情、意見を品質管理部門で直接受け付けて、問題発見の端緒とするような制度的な工夫、及び当該窓口の積極的なPR＜（同趣旨）浅見委員、古城委員＞

【外国庁への情報発信、情報交換等に関するもの】

- ・外国庁との判断相違の分析結果を外国庁に発信、相違点の原因を共同して検討し、外国庁の審査の品質の向上につなげる。＜浅見委員＞
- ・外国庁との判断相違の分析の継続、及びJPOの品質管理の取組の国際的な情報発信＜小原委員＞

【その他】

- ・品質の定量評価のための指標（品質目標、品質パフォーマンスを測る指標）の明確化＜（同趣旨）小原委員、中條委員＞
- ・項目⑧の結果をもとに、項目①についての具体的な品質目標を設定し、また、これと項目⑥の品質向上の取組を関連づけ＜中條委員＞
- ・項目①（品質マニュアル）、項目②、③、⑦をセットで考え、品質保証体制を確立。また、項目⑤について、品質改善の促進と品質保証体制の確立を推進＜中條委員＞

仮評価に基づく審査品質管理の実施体制に関する改善案（意匠）

平成26年12月18日
事務局

【文書作成に関するもの】

- ・海外ユーザー向けの「品質マニュアル」英訳版の作成及び公表＜長澤委員＞
- ・ハーグ協定のジュネーブ改正協定の審査に対応した品質管理の取組の一環として、海外ユーザー向け審査基準（英語版）の提供＜長澤委員＞

【品質監査、品質保証に関するもの】

- ・ハーグ協定のジュネーブ改正協定の審査に対応した品質監査等、品質管理の取組の検討・実施（運用開始直後は重点的に取り組むべき）＜（同趣旨）浅見委員、長澤委員＞
- ・サーチ、類否判断についての品質監査等、品質管理の取組の検討・実施＜浅見委員、（同趣旨）長澤委員（サーチについて）＞
- ・サンプルチェックではなく、全件チェックが望ましいが、不可能であれば、ランダム抽出から生じる懸念を防止する方策を検討すべき。例えば、年度毎に特定の部門を選択し徹底した監査を実施する等＜竹本委員＞
- ・拒絶理由通知のない登録査定案件の検証の要否について検討＜田沼委員＞

【審査（サーチ、判断、先行技術調査）の取組に関するもの】

- ・先行意匠調査の対象となる文献の増加に伴う審査負担を軽減する施策をさらに推進し、品質管理へのリソースを向上＜田沼委員＞
- ・ビジネス動向（製品や技術のトレンドは世界のどの地域にあるかなど）を把握してサーチ範囲等に反映する取組みを検討＜田沼委員＞

【審査・品質管理体制に関するもの】

- ・品質管理体制については、意匠課だけではなく、特許庁全体でフォローを期待＜相澤委員＞
- ・品質管理庁内委員会及び品質管理官が審査部内に設置されているが、審査及び監査の双方が独立性を持った機関とすべきではないか。＜竹本委員＞
- ・審査官数の確保及びその育成の充実＜長澤委員＞
- ・品質管理官の専任化、及び企画・立案担当の品質管理官の指揮命令系統の整備＜（同趣旨）小原委員（品質管理の専任化について）、長澤委員＞

【品質に対する意見提出窓口等ユーザーニーズの聴取に関するもの】

- ・ ユーザーからの苦情、意見を品質管理部門で直接受け付けて、問題発見の端緒とするような制度的な工夫＜古城委員＞
- ・ 「満足度調査」についての検討・実施＜長澤委員＞

【外国庁への情報発信、情報交換等に関するもの】

- ・ 他の審査国の審査官との人事交流を行い、品質管理について情報交換＜田沼委員＞
- ・ JPOの品質管理の取組の国際的な情報発信と、外国庁の品質管理に関する取組のさらなる情報収集と分析＜長澤委員＞

【その他】

- ・ 職員に品質管理の重要性に関する意識を高める方策を検討＜飯村委員＞
- ・ 品質の定量評価のための指標（品質目標、品質パフォーマンスを測る指標）の明確化＜中條委員＞
- ・ 項目⑧の結果をもとに、項目①についての具体的な品質目標を設定し、また、これと項目⑥の品質向上の取組を関連づけ＜中條委員＞
- ・ 項目①（品質マニュアル）、項目②、③、⑦をセットで考え、品質保証体制を確立。また、項目⑤について、品質改善の促進と品質保証体制の確立を推進できる組織体制を確立＜中條委員＞

仮評価に基づく審査品質管理の実施体制に関する改善案（商標）

平成26年12月18日
事務局

【文書作成に関するもの】

- ・ 商標審査官が商標審査を行う際の手続を定めた文書の体系的な整理、再編及び一括的な管理＜（同趣旨）浅見委員、小原委員＞
- ・ 海外ユーザー向けの「品質マニュアル」その他審査関連文書の英訳版の作成及び公表＜（同趣旨）浅見委員、長澤委員、中村委員＞
- ・ 審査を実施するに当たり、手順、内容を明確に記した文書の改訂＜（同趣旨）飯村委員、長澤委員＞

【品質監査、品質保証に関するもの】

- ・ サンプルチェックではなく、全件チェックが望ましいが、不可能であれば、ランダム抽出から生じる懸念を防止する方策を検討すべき。例えば、年度毎に特定の部門を選択し徹底した監査を実施する等＜竹本委員＞

【審査（サーチ、判断、先行技術調査）の取組に関するもの】

- ・ 面接、電話等の対応を増やす取組＜小原委員＞
- ・ ビジネス動向（製品や技術のトレンドは世界のどの地域にあるかなど）を把握してサーチ範囲等に反映する取組を検討＜田沼委員＞

【審査・品質管理体制に関するもの】

- ・ 審査官数の確保及びその育成の充実＜（同趣旨）浅見委員、小原委員、長澤委員＞
- ・ 品質管理官の増員（兼任を含む）、兼任の品質管理官の専任化、及び企画・立案担当の品質管理官の指揮命令系統の整備＜（同趣旨）浅見委員、小原委員、長澤委員、中村委員＞
- ・ 品質管理庁内委員会及び品質管理官が審査部内に設置されているが、審査及び監査の双方が独立性を持った機関とすべきではないか。＜竹本委員＞
- ・ 機械化等により審査業務に集中するための施策をさらに推進し、審査実施体制の高度化／品質管理体制の強化実現＜田沼委員＞
- ・ 特許と同様の品質管理専門組織設置の必要性有無（特許との組織規模、人員数の違いから現行部門で品質管理の役割を担えないか）＜長澤委員＞

【品質に対する意見提出窓口等ユーザーニーズの聴取に関するもの】

- ・ユーザーからの苦情、意見を品質管理部門で直接受け付けて、問題発見の端緒とするような制度的な工夫＜古城委員＞
- ・ユーザーや代理人からの意見聴取や意見交換の促進＜中村委員＞

【外国庁への情報発信、情報交換等に関するもの】

- ・他国の審査官との人事交流を行い、品質管理について情報交換＜田沼委員＞
- ・JPOの品質管理の取組の国際的な情報発信と、外国庁の品質管理に関する取組のさらなる情報収集と分析＜長澤委員＞

【その他】

- ・品質の定量評価のための指標（品質目標、品質パフォーマンスを測る指標）の明確化＜中條委員＞
- ・項目⑧の結果をもとに、項目①についての具体的な品質目標を設定し、また、これと項目⑥の品質向上の取組を関連づけ＜中條委員＞
- ・項目①（品質マニュアル）、項目②、③、⑦をセットで考え、品質保証体制を確立。また、項目⑤について、品質改善の促進と品質保証体制の確立を推進できる組織体制を確立＜中條委員＞